RIAJ
Recording Industry Association of Japan

# The Record

May
2012

vol.630

日本レコード協会 70 周年特集　レコード協会の 70 年を顧みる
第 2 回香港アジアポップミュージックフェスティバル（HKAMF）開催
第 41 回 RIAJ セミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

70 Anniversary

# Monthly News Digest

Contents


Monthly News Digest..... 1

特集
日本レコード協会 70 周年特集
レコード協会の 70 年を顧みる ..... 3

私の一枚..... 8

特報
第 2 回香港アジアポップミュージック
フェスティバル（HKAMF）開催..... 9

第 41 回 RIAJ セミナー
「新入社員合同研修会・懇親会」開催.....11

Monthly Production Report..... 13

GOLD DISC..... 14


## 3/13
## 不正商品対策協議会、全国の道府県警察に感謝状を贈呈

3 月 13 日、東京都中央区の日本映像ソフト協会会議室において、当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）は、全国の道府県警察に対して、著作権侵害対策への協力についての感謝状贈呈を行った。

これは、2011 年 11 月 28 日～30 日に全国 47 都道府県警察で実施されたファイル共有ソフト等を通じた、映画、音楽、アニメ、ゲーム、ビジネスソフトなどの著作権法違反事件に関する全国集中一斉取締りに対するものである。当取締りにより、著作権侵害状態の是正が図られたとともに、ファイル共有ソフトの違法利用について、世間に警鐘を与えた点も鑑み、感謝状を贈呈し謝意を表した。

感謝状は、ACA と事件にかかわった加盟団体の連名によるもので、全国 7 管区警察局及び 37 道府県警察本部宛に贈られた。当日は、ACA 後藤健郎事務局長より、全国を代表し、東北管区警察局佐藤裕治広域調整第一課課長補佐に感謝状が贈呈された。

■不正商品対策協議会
(ACA : The Anti-Counterfeiting Association)
URL: http://www.aca.gr.jp/

## 3/22
## 「Age Free Music, Music concert Vol.4」開催

3 月 22 日、東京都千代田区の TOKYO FM HALL において、当協会主催の「Age Free Music, Music concert Vol.4」が開催された。

当イベントは、2011 年 11 月 30 日～ 2012 年 1 月 31 日に実施された「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン第 7 弾の商品購入者へのプレゼントの一つとして実施されたものである。

当日は、「Age Free Music」の提唱者である富澤一誠氏をナビゲーターに、加藤登紀子さん、樋口了一さんをゲストに迎えた。昨年 12 月に発売されたコンピレーションアルバム「絆～ありがとう～（UICZ-8092）」「絆～一番大切なもの～（MHCL-2004）」に収録の楽曲エピソードが、ゲストの歌にまつわる思い出とともに終始和やかな雰囲気で語られた。また、ゲストのお二人による収録曲のパフォーマンスではその深い歌声が会場に響き渡り盛り上がりを見せた。

なお、「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーンは引き続き、第 8 弾を本年 6 月頃に実施の予定である。

Age Free Music
大人の音楽
www.otonaongaku.jp


このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

## 3/27～31
## 「第70回全日本学生児童発明くふう展」で真正品・模倣品の比較展示を実施

3月27日～31日、東京都千代田区の科学技術館で行われた「第70回全日本学生児童発明くふう展」の中で、国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）がブースを設置し、真正品と模倣品の比較展示を行った。

今回で70回目を迎えた同展は、社団法人発明協会（現在は公益社団法人に移行）が主催し、小学生から高校生までが考え出した身の回りに関する発明作品の中から優秀作品を展示するものである。IIPPF第4プロジェクト幹事の同協会は、「ホンモノ？ニセモノ？君はわかるかな？」というブースを設置し、当協会はIIPPFのメンバーとして協力、CD・DVDの真正品・模倣品の提供を行った。今回の発明くふう展には5日間で4,000人余りが来場し、盛況のうちに終了した。

## 3/30
## 理事会・総会開催

3月30日、当協会会議室において、当協会は第450回通常理事会および臨時総会を開催し、平成24年度事業計画書案および収支予算書案が承認された。（事業計画の詳細は、先月号にて掲載済み）

### 日本のレコード産業英語版「RIAJ Yearbook2012」を発行

当協会では、「日本のレコード産業2012」の英語版である「RIAJ Yearbook 2012」を発行しました。本誌は、2011年のレコード産業の概要を網羅したA4判28頁の小冊子で、日本語版と同様の内容で、レコードの生産実績、有料音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定、世界売上等を幅広く掲載しています。なお、本誌のPDF版については、当協会ホームページ（http://www.riaj.or.jp/e/issue/index.html）をご覧下さい。

### RIAJ2012年4月度理事会議案

■ 報告事項

1. 名義申請に関する件
   （1）平成24年度内閣府「青少年の非行・被害防止全国強調月間」協賛依頼
   （2）平成24年度文化庁著作権セミナーへの協力依頼
   （3）「第25回日本民謡フェスティバル2012」協賛依頼
2. 法制委員会関係報告
   （1）違法DLに関する法制化の動きについて
   （2）TUBEFIRE訴訟について
3. マーケティング委員会関係報告
   （1）平成24年度レコード寄贈について
   （2）「大人の音楽キャンペーン」ラジオ番組開始について
4. 広報委員会関係報告
   （1）平成23年度「職場訪問」受け入れ実績報告
5. 海外市場拡大委員会関係報告
   （1）「香港アジアポップミュージックフェスティバル」結果報告
6. その他報告
   （1）「Non-DRM」音源の配信フォーマットについて
   （2）有料音楽配信チャートの検討状況について
   （3）「春一番」等のJASRAC信託契約解約への対応について

## 日本レコード協会70周年特集

# レコード協会の70年を顧みる

このたび、当協会は創立 70 周年の節目の年を迎えた。

1942 年4月 30 日、太平洋戦争のさなかに政府の意向に沿って設立した当協会が、70 年もの長きに渡り歩みを進めてきた歴史を今一度ひもとき、新たなスタートを切る意味で、今号では当協会が実施してきたさまざまな事業を回想してみる。なお、会員各社をはじめ、多くの関係者の協力を得ながら実施してきた当協会事業は多岐に渡るが、今回は誌面の都合上、事業開始時より現在に至るまで継続している事業の中からいくつかピックアップし、紹介することとする。

## 協会設立

### 1942年　「社団法人日本蓄音機レコード文化協会」設立

**戦時下における政府からの文化統制的要請により官民合同で設立（会員５社：日蓄、ビクター、講談社、帝蓄、ポリドール）**

当協会の前身である社団法人日本蓄音機レコード文化協会は、戦時下の 1942 年４月 30 日、日本初のレコードメーカー法人団体として設立・登記された。70 年に及ぶ、当協会の出発点である。

設立の背景と経緯を少し振り返ってみよう。同協会設立に先立ち、1937 年８月に、日蓄（後のコロムビア）、ビクター、講談社（後のキング）、帝蓄（後のテイチク）、ポリドールの５社により、全国蓄音器レコード製造協会が、任意団体として発足していた。同製造協会は、小売業界対策を目的としつつも、メーカー間の親睦団体という性格を帯びていた。1941 年、政府から同協会に対し、法人格を持った統制機関的性格のレコード文化団体の設立要請があり、全国蓄音器レコード製造協会を発展的に継承する形で、社団法人日本蓄音機レコード文化協会が作られたのである。

（当時の設立趣意書を現代風に改め抜粋）

「元来、レコードは独自性を持ち、手軽に取り扱えるだけでなく、その企画はいち早く時事問題をも取り上げ製作することができる。その宣伝力利用価値により、国策的に重要な地位を持っている。軍隊においては音楽は軍需品とまで言われるに至り、愛国的歌謡は国民の結束に役立った。レコード業界は時局相応の新体制に移行し国会組織の一翼として使命を達成しなければならない。この長期戦下では、企業合同で原料資材の統制や販売機構の革新を進める必要がある。そのために官民合同の社団法人日本蓄音機レコード文化協会を設立する。」

**設立時の課題「レコード資材の調達と配給」「戦意昂揚に資するレコード製作」**

同協会設立時には主に２つのテーマが課せられた。一つは戦時下での原盤用金属やシェラック等のレコード資材の調達と有効適切な配給である。もう一つは、レコード企画を戦時体制へ切り替え、戦意昂揚に資するレコードを製作することである。後者の一環として敵性レコードの排除へ向けたリスト作成などにも携わることとなった。社団法人日本蓄音機レコード文化協会は、戦時下という特殊な環境で、文部省、内務省、内閣情報局の３省が管掌する、いわば政府主導型の厳しい統制を受け、かつ文化の統制管理を実践する組織であった。

設立趣意書

### 2012年　「一般社団法人日本レコード協会」創立70周年

**会員 59 社（正会員 19、準会員 16、賛助会員 24）**

| | |
|---|---|
| 1944 年 | 社団法人日本音盤協会へ改称 |
| 1949 年 | 社団法人日本蓄音機レコード協会へ改称 |
| 1969 年 | 社団法人日本レコード協会へ改称 |
| 2010 年４月 | 一般社団法人日本レコード協会<br>（一般社団法人へ移行、現在に至る） |

（事業目的 抜粋）

「優良なレコード等の普及と適正な利用に努めるとともに、レコード製作者の権利の保護を図り、もって音楽文化の発展に寄与すること」

明確な理念を掲げ、業界の合意を重視して主体的に事業を遂行する、独立的な組織となっている。

**2012 年度 重点施策**

1. 違法音楽配信の撲滅
2. 需要拡大施策の拡大
3. 権利収入の拡大と適正な分配
4. レコード製作者の権利の確保・強化
5. シェアードサービスの拡大
6. 著作権教育・啓発活動の充実
7. シンクタンク機能の充実
8. 音楽文化の維持、発展のための施策

# 生産実績

## 1929年　「レコード生産実績」調査開始

**協会設立以前、戦前（1929 年）からレコード生産枚数を調査**

レコード生産実績については、社団法人日本蓄音機レコード文化協会が設立する以前の 1929 年から、生産枚数の統計が取られ、公表されている。

**戦中（1943 年 ~1945 年）のみ調査不可**

1929 年～ 1942 年のレコード生産実績については、商工省（現・経済産業省）の工場統計表によるものと推測されている。戦中の 1943 年～ 1945 年のみデータが存在していない。

## 2012年　「レコード生産実績」毎月公表

現在の生産実績データは、各会員社が生産し倉庫に納品した数字を取りまとめ、毎月 20 日頃に公表されている。
（対象）前月中旬から当月中旬までに発売された一般市販商品、特販商品の数量（枚数単位）と金額（仕切り価格）

# レコ倫

## 1955年　「レコード制作基準管理委員会(通称レコ倫)」発足

**レコード倫理綱領、レコード制作基準を 1952 年に制定**

レコードの倫理的な管理については、1952 年 11 月、「レコード倫理綱領」「レコード制作基準」が制定され、当初はメーカー各社の自主的判断に委ねられていた。

**レコードの社会的影響力が高まり「レコ倫」を発足**

一方でこの頃、レコードに対し、低俗なものの存在が指摘され、放送から排除されるケースが出ていた。レコードの社会的な影響力が高くなったとの見解が主流となり、1955 年 5 月、当協会から独立した別個の機関として常設機関の「レコード制作基準管理委員会（通称レコ倫）」が発足した。

学識経験者 3 名、レコード 6 社の文芸部長、当協会専務理事が初代委員に就任した。毎月 1 回の審査会を運営し、規程に基づいて、発売前レコードの歌詞の審査・判定・勧告を行い、再審査の請求も受け付けるという流れができた。また、未審査レコードの公開での演奏、放送は禁止とするルールも定められた。

## 2012年　「レコード倫理審査会」毎月1回の審査会を継続

**年間約1万作品、毎月1回の審査会を第1回より継続実施**

年間約 1 万に及ぶ作品について意見交換の上審査を実施。これまでに延べ 685 回の審査会を開催してきた。なお、現在は学識経験者 4 名、会員社委員 29 名で構成されている。

（審査対象）
会員社及び会員社に販売を委託する協会非会員社が新たに発売予定のレコードの内、歌唱を伴う楽曲が録音されているすべての邦盤オーディオレコード（配信のみで販売される楽曲を含む）

原則として歌詞（印刷物）で審査を行うが、必要な場合は、試聴審査も行われる。

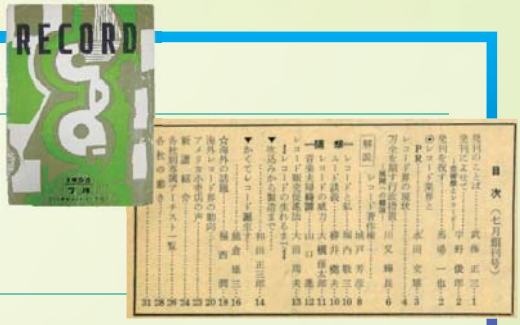
審査の結果、「レコード制作基準」に抵触すると判断されたレコードについては、適切な措置へ向けた注意・勧告、当該会員社内での対応の検討、事務局への結果報告が行われる。また、指摘内容と対応は各社で情報を共有する。

近年問題が指摘される表現としては、差別や麻薬に関わるものが挙げられる。

# 機関誌

## 1956年　機関誌「The Record」創刊

レコード業界全体の PR 活動強化へ向けて、機関誌「The Record」が 1956 年 7 月 1 日に創刊された。当初は、B5 版モノクロ 36 ページで毎月 1 回発行された。創刊号の目次には「レコード著作権」「レコード販売促進法」「レコードの吹込みから製造まで」「アメリカ小売店の動向」「新譜紹介」など幅広い項目があげられている。



創刊号　表紙、目次

## 2012年　5月号にて通算630号

A4 版カラー 16 ページ、発行部数は 1,800 部、毎月 10 日に発行。
（配布先）会員社、国会議員、関係省庁、関係団体、マスコミ関係者、その他レコード産業に関心のある方々

# レコード寄贈

## 1963年　レコード業界の社会貢献活動「レコード寄贈」開始

**1957年、11月3日を「レコードの日」と制定**
**ライブイベント「レコード祭」を実施**

レコードの需要拡大活動の一環として11月3日の文化の日を「レコードの日」と制定し、付帯イベント「レコード祭」を全メーカー一丸でスタートした。最初のキャッチフレーズは「楽しいレコード明るい家庭」。人気歌手20名の参加するライブイベントがNHKのラジオ・テレビで全国中継され、並行してレコード・コンサートのキャラバンが全国46カ所を回り、大反響を呼んだ。

また、1963年には、当時、当協会が入っていたレコード会館内に、レコード・ライブラリーが開設された。

**1963年 レコード・ライブラリー開設**

収蔵レコードは会員社の全新譜リリースで、62年7月以降のものが収集開始されたものの、レコード数急増に伴い、コレクションの維持が困難となり、レコード・ライブラリー事業は途絶する。「レコード寄贈」は、このレコード・ライブラリーのコレクションを活かし、レコード祭の行事の一つとして開始された。

**1963年 レコード寄贈開始**

第1回は全国厚生福祉療養施設（700カ所）を対象に、レコード・ライブラリーが所蔵する8,000枚が寄贈された。以後、毎年恒例の行事となり、定着した。

## 2012年　「レコード寄贈」は第50回を迎え、過去49年間で累計100万枚(巻)を記録

**1963年以降現在まで継続実施**

第1回目以降、現在まで「レコードの日」に合わせて、福祉施設、療養施設の方々が音楽で明るい生活を送られるよう願いを込めて、全国社会福祉協議会の協力のもと、レコード、カセット、CD等を贈る活動が続けられてきた。

**2011年は東日本大震災被災地にも寄贈**

2011年は、東日本大震災を鑑み、時期を7月に早めると共に、授産施設への寄贈に加え、被災地の避難所やコミュニティFM局等にも寄贈を実施した。

（2011年寄贈状況）
放送局20局　4,150枚
避難所32カ所　3,700枚
643施設　10,665枚

協会に届いたお礼の手紙

# GD大賞

## 1987年　実績データでアーティストを顕彰「日本ゴールドディスク大賞」開催

**1987年3月24日第1回開催**
**（邦楽）中森明菜、（洋楽）マドンナが大賞**

需要拡大を大命題とし、レコードの売り上げ数という客観的なデータでアーティストを顕彰するGD大賞を制定。そのデータは公認会計士による厳正な確認がなされている。第1回GD大賞授賞式は1987年3月24日、赤坂プリンスホテルにてディナーパーティー形式で開催された。

**1992年～2006年には一般招待のライブ形式でNHKホールにて授賞式を開催**

1992年～2006年には一般応募者も招待したライブ形式の授賞式を行い、その模様はNHKで放送された。

2009年に実施した東京国際フォーラムでの授賞式はWOWOWと東京FMでの放送も行われた。

**2002年～2006年にはコンピレーションCDを製作**

第16回～20回には受賞作品のコンピレーションCDが製作された。

**2007年からは音楽配信の賞も設置**

第17回（2003年）
コンピレーションCD

## 2012年　第26回授賞式開催 60作品・アーティストを顕彰

1987年以降、毎年正味売上実績に基づき、様々なジャンルのアーティストを顕彰し、授賞式を継続開催してきた。2012年は、ニコファーレにてライブパフォーマンス形式での授賞式を実施。BSスカパー、MTV（日本含むアジア20カ国・地域）での放送も行われた。

（2012年1月27日第26回授賞式）
アーティストオブザイヤー
（邦楽）AKB48、（洋楽）レディー・ガガ
AKB48は第24回の嵐に並ぶ「史上最多タイの10冠」「史上初のシングル部門独占」

第18回受賞作品に貼付されたステッカー

トロフィー

# GA認定

## 1989年　「ゴールド・アルバム」「プラチナ・アルバム」の認定作品公表

**産業発展、音楽文化普及向上を目指し開始**

1989 年より、年に一度の GD とは別に、より短期間にリアルタイムでヒット作品を顕彰する制度として、ゴールド·アルバム、プラチナ・アルバムの毎月 1 回の認定を開始した。

第 1 回（1989 年 4 月度）ゴールド・プラチナ等認定作品
アルバム 8 作品、シングル 6 作品

**2004 年からはレコード店の店頭試聴機でも紹介**

2004 年からは、認知拡大とレコード店の活性化、旧譜中心の販促を目的とし、レコード店頭に設置してあるデジタル試聴機でも月次認定作品の紹介を開始した。

認定トロフィー

## 2012年　毎月認定作品を公表、2006年より「有料音楽配信認定」も実施

1989 年以降、毎月 10 日に各月の認定作品（CD、音楽ビデオ等）の公表を実施、現在も継続的に顕彰が行われている。また、2006 年 8 月からは、有料音楽配信楽曲の月次認定も、毎月 20 日に公表している。

# 寄附講座

## 1992年　コンテンツビジネスの理解を促すため「大学寄附講座」開始

**当協会創立 50 周年記念事業として開始**

1992 年、当協会創立 50 周年記念事業の一つとして、大学への寄附講座を開始した。次世代を担う学生のコンテンツビジネスに対する理解を深め、知的財産を尊重する意識を高めることが、その目的である。

これまでに青山学院大学、早稲田大学、慶應義塾大学、立教大学において、それぞれ複数年にわたって開講されている。

## 2012年も横浜国立大学にて開講予定

2011 年 10 月より、横浜国立大学経済学部にて「コンテンツビジネスと法」をテーマに開講、2012 年度も継続の予定である。

# 廃盤セール

## 1992年　音楽ファンに謝意を表す「廃盤セール」を初開催

**1992 年 11 月 7 日東京都立産業貿易センターで開催。前日から会場に並ぶファン含め午前 10 時には 3 千人が集まる。11 時には入場制限も**

1992 年 11 月、再販弾力運用の一環として音楽ファンに謝意を表するため、第 1 回廃盤セールが、「レコードファン感謝祭 '92 ー廃盤特別謝恩セール」として、東京・大阪・福岡の 3 会場で開催された。3 会場の合計来場者は 22,556 人にも及び、大盛況となった。

## 2012年　インターネットによる廃盤CDセール「新春レコードファン感謝祭」を開催

第 1 回以降、毎年開催され、2001 年からは全国のファンの声に応え、会場での即売会方式からインターネット通販に方式が変更された。2012 年は 1 月 13 日～ 27 日に、音楽 CD を中心に、約 2,800 タイトル 46,000 枚を出品。

レコードを選ぶ来場者（第1回・東京会場）

# 著作権啓発キャンペーン

## 2002年　「著作権啓発キャンペーン」の展開と拡充

### 2002年「Respect Our Music」開始

2002年9月から、違法アップロードや不正コピー問題等への対応策として、著作権への理解を深めていただく啓発活動「Respect Our Music キャンペーン」を開始した。会員社、関係諸団体、販売店等との連携のもと、ポスターやリーフレット、TV・ラジオCMなどさまざまなチャネルを活用したキャンペーンを展開した。

以降、デジタル環境の変化に伴う違法問題の広がりに対応し、継続的なキャンペーンとして定着する。アーティストの積極的な協力体制も確立された。

2007年には特設携帯サイトにてアーティストに協力いただいた「携帯音楽を守りたい」キャンペーン、2009年、2010年には標語・デザイン等の作品を一般から募集した「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンを展開した。また2009年12月には翌2010年1月1日からの改正著作権法施行のタイミングに併せて、7組のアーティスト参加のもと、新宿にてキャンペーンイベントを行った。イベントに伴い、新宿東口周辺でエルマーク刻印入りマスクの配布も実施された。

2010年には「映画盗撮防止」と「違法ダウンロード撲滅」を目的とする「映画盗撮防止キャンペーン」に参加、全国の劇場でキャンペーンCMの上映を実施している。

LOVE MUSIC? SAVE MUSIC!

携帯音楽を守りたい
違法な音楽ファイルの利用はやめましょう

Respect our MUSIC

260名ものアーティストが参加した「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーンポスター

エルマーク刻印入りマスク

「守ろう大切な音楽を♪」
キャンペーン2009
キャラクター部門グランプリ
「守りタイ」

「守ろう大切な音楽を♪」
キャンペーン2010
キャラクター部門グランプリ
「音めちゃん」

映画盗撮防止･違法ダウンロード防止キャンペーンポスター

全国の映画館で上映しているキャンペーンCM

## 2011年　「LOVE MUSIC」キャンペーン 著作権法読上げコンテスト実施

2010～2011年は「LOVE MUSIC キャンペーン」として、特設サイト上で音楽ファンとの交流、また、「著作権法30条読上げコンテスト」といったユニークな企画も実施され、最優秀者RaGmyさんのオリジナル曲「伝えたいこと」は10月26日～11月1日の期間「レコチョク・うた」から無料配信された。

（参考資料）日本レコード協会五十年史、日本レコード協会60周年記念誌、The Record

# 私の一枚

吉田耕一

一般社団法人 日本レコード協会 監事
（株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役社長）

## ●「いとしのレイラ」
（デレク＆ザ・ドミノス）

“Layla and Other Assorted Love Songs”。原題はやたら長かったのを覚えている。これまでに一体何回リマスターされ、何回再発されたことか。情けないことにその度にボーナストラックをチェックしてしまう程、もうかれこれ 40 年以上もこのアルバムへの思い入れは続いている。

このアルバムが出た 1970 年というのは “よど号” ハイジャック事件や三島由紀夫の割腹自殺といった出来事が世の中を騒がせ、身近なところでは銀座のホコ天が始まった年でもあった。音楽の世界に目を向けると、アルバム“Let It Be” を最後に Beatles が消滅してしまうという大事件があったものの、Led Zeppelin、Jimi Hendrix、Deep Purple、Santana、Pink Floyd、Black Sabbath といった伝説的なアーティストがそれぞれ個性的なアルバムをリリース、60 年代終わりから続く Rock が最もクリエイティブだった時代の真っ只中であった。

Eric Clapton 率いる Derek & The Dominos 名義のこのアルバムはそういった流れの中で発表されるわけであるが、当時主流であったいわゆる “Blues Rock” 的なものを基調にしたもの。今でこそ “名盤” のひとつとされているものの、アナログ盤で 2 枚組という若干の冗長さもあったのか、発売当初はそれほど高い評価を受けていたわけではない。何かとタイトル曲の “Layla” にまつわる例の逸話ばかりが語られることが多かったが、このアルバムの魅力は何と言っても Clapton と Duane Allman というとてつもない感性と技量をもった二人のギタリストがお互いを刺激しあい、エレキギター史上最高のコラボレーションを実現してしまったことにある。当時 Rock という音楽に憧れ、明けても暮れてもギターばっかり弾いていた 17 歳の “日本人少年” にとってこのアルバムでの二人のプレーはまさしく衝撃的で、当時地元で開催されていた大阪万国博よりもはるかに重要な事件であった。そんな訳で、アルバムの中の曲を全部弾けるようになろうと日夜練習に励むのだがその当時は今ならふつうに楽器屋さんで売っている “タブ譜” のようなものは存在せず、すべては所謂 “耳コピー” の時代。しかも CD ではなく LP だからフレーズの頭出しだけでも大変。考えてみればあの当時のギター小僧たちはみんな恐ろしく努力家だった……ということになる。で、苦労の末に何とか弾けるようになり、いざバンドでやってみようとするのだがこれがまったく想像していた音にならない。実はスライドギターを弾けるメンバーがいなくてスライド抜きの Dominos コピーという極めて片手落ちな状態になってしまっていた。（後になって本家 Dominos のライブ盤が発売されることになるのだけど、やはりギターは Clapton 一人だけで何とも物足りない演奏であった。）

結局は Duane のスライドを堪能するためのアルバムということになってしまうのだが、40 年経った今でもしっかりと私の iPhone の中で居場所を確保している最重要アルバムの一枚である。

特 報 Special Report

# 第２回香港アジアポップミュージックフェスティバル（HKAMF）開催

３月23日、香港コンベンションセンターにおいて「第２回香港アジアポップミュージックフェスティバル（HKAMF）」が開催された。

HKAMFは、国際レコード産業連盟（IFPI）香港グループが香港政府の助成を受け、東アジア７カ国・地域（日本、中国、韓国、マレーシア、シンガポール、台湾、香港）の音楽関係団体が協力し開催されたもので、昨年に引き続き今回が２回目となる。昨年同様「Music in One Asia」をテーマに、７カ国・地域から新人アーティストが参加する新人コンテストと併せて、各地の人気アーティストがパフォーマンスを披露したほか、今回はショー前日に「中国本土での音楽ビジネス」等をテーマとした商談会が開催された。

7カ国･地域のアーティストが一同に会したHKAMF

日本からは、新人アーティストとしてHIROZ SEVEN＋の皆さん（（株）ハッツ・アンリミテッド）、ゲストアーティストとしてJAM Projectの皆さん（（株）ランティス）が参加。また昨年新人コンテストにエントリーしながら、東日本大震災の為参加することができなかった熊谷育美さん（（株）テイチクエンタテインメント）が、香港をはじめアジア各国の皆さんの支援に対する感謝の気持ちを伝えるため、特別ゲストとして参加した。

### 1. 商談会（22日）

ショー前日22日には、コンベンションセンター特別室にて「Music in One Asia」をテーマに商談会が開催された。日本からは「中国本土での音楽ビジネス」をテーマに（株）アソジア横澤優代表取締役が参加した。各ゲストのプレゼンテーションがなされた後、各国音楽関係者と個別に商談会が行われた。

＜参加スピーカー＞
日本：（株）アソジア代表取締役 / 横澤優
中国：中国深圳市ACコーポレーションCEO/ 耿軍（Geng Jun）
香港：DKメディアグループCEO/ 王涛（Darren Wong）
Redspot Creative 香港総裁 / 李嘉俊（Kevin Lee）
腾讯ホールディングス香港総経理 / 谭乐文（Norman Tam）
＜テーマ＞
第一部：音楽プロモーションにおける双方向メディアと3D技術の利用
第二部：中国本土におけるライブビジネスの現状
第三部：ソーシャルメディアを利用したブランド力の強化

### 2. 記者会見（22日）

1. の商談会後、新人アーティスト・ゲストアーティスト・審査員等約80名が一堂に会し、記者会見が行われた。参加アーティスト全員のフォトセッション、アーティストごとのインタビューなど終始華やかなムードで会見は進められた。メディアの関心も高く、香港のマスコミを中心に多くのメディアが駆け付けた。

記者会見の様子

### 3. フェスティバル（23日）

HKAMFは23日夜、香港コンベンションセンターで8,000人の観客を集め開催された。新人コンテストに日本から参加したHIROZ SEVEN＋は「日本男児～SAMURAI～」を勇壮なパフォーマンスとともに披露した。ゲストアーティストのJAM Projectは「SKILL」「KI.ZU.NA」を熱唱、会場に詰めかけたファンからの歓声だけでなく、最後には会場全体を巻き込んだステージとなった。特別ゲストの熊谷育美は「東日本大震災での皆さんの支援に感謝する気持ちと、被災地の皆さんに希望を与えるために、心の底から歌います」と「雲の遥か」をピアノの弾き語りで披露し、会場から多くの拍手が上がった。新人コンテストは第一次審査でヴォーカルパフォーマンス賞に韓国のALI、ステージパフォーマンス賞に台湾の倪安東（Anthony Neely）が選ばれ、その後第二次審査を経て、韓国のALIが第２回スーパーノーバ賞に選ばれた。

HIROZ SEVEN＋

JAM Project

熊谷育美

なお、同フェスティバルの模様は、スペースシャワー TV にて以下の日程で放送を予定している。
「HKAMF 放送日」スペースシャワー TV
6 月 23 日（土）21:00 ～ 22:00　　6 月 25 日（月）23:00 ～ 24:00　　（その他 7 月にリピート予定）

**<新人コンテスト参加者>**
日本：HIROZ SEVEN＋
中国：宋靖宇（Song JingYu）
韓国：ALI
台湾：倪安東（Anthony Neely）
マレーシア：Projek Pistol
シンガポール：邱意淋（Bevlyn Khoo）
香港：洪杰（Alex Wu）

**<審査員>**
清水英明（スペースシャワーネットワーク代表取締役社長）
李海鷹（Li HaiYing）（作曲家）
Oh Dong Sik（プロデューサー）
王治平（Bing Wong）（プロデューサー）
李志清（Li ZhiQing）（デジタル文化芸術大学院院長）
李思菘（Li SiSong）（作曲家）
趙增熹（Zhao ZengXi）（ミュージシャン）

**<受賞結果>**
スーパーノーバ賞……韓国 /ALI
ヴォーカルパフォーマンス賞……韓国 /ALI
ステージパフォーマンス賞……台湾 / 倪安東（Anthony Neely）
腾讯（テンセント）人気投票…台湾 / 倪安東（Anthony Neely）

**<ゲストアーティスト>**
日本：JAM Project
中国：胡彦斌（Hu YanBin）
韓国：Brown Eyed Girls
台湾：張芸京（Jing Chang）
マレーシア：光良（Michael Wong）
シンガポール：王俪婷（Olivia Ong）
香港：古巨基（Leo Ku）

**<特別参加アーティスト>**
第 1 回スーパーノーバ　中国：呉琼（Wu Qiong）
ゲスト出演　日本：熊谷育美
大会アンバサダー　韓国：東方神起

# 知的財産権保護・啓発フェア 2012 in 北京

3 月 16 日・18 日、当協会が加盟しているコンテンツ海外流通促進機構（CODA）は、中国・北京市において「知的財産権保護・啓発フェア 2012 in 北京」を開催した。本フェアは 2010 年北京・2011 年上海に続く第三回目にあたり、日中両国政府及びコンテンツ業界団体の協同で開催された。

16 日は中国職工之家 B 座三階多目的ホールにおいて、中日版権保護検討会「インターネット著作権保護及び業界発展のためのシンポジウム」が開催され、北京の工業・情報化部電子知識産権センター職員、サイト運営会社、弁護士事務所等関係者約 70 名が聴講した。工業・情報化部電子知識産権センター趙天武主任、同部科学技術司韓俊副司長、CODA 後藤健郎専務理事の挨拶に始まり、中国側から工業・情報化部政策法規司法規李長喜所長、北京市第一中院芮松艳知的所有権裁判官、日本側から CODA 永野行雄常務理事事務局長、前田哲男弁護士の基調講演が行われ、講義後の質疑応答では大変活発な議論がなされた。

18 日は王府井の新東安商場 B1 スペースにおいて、一般消費者の著作権意識向上を目的に「正版？盗版！版権保護普法宣伝日（ほんと？ホント！フェア）」が開催された。会場では、「ホンモノニセモノ比較展示」「クイズで学ぶ！○×クイズ大会」等が行われ、会場に集まった一般客は楽しみながら知的財産権の重要性を学んだ。来場者数は延べ 1,500 名程で、500 件を超えるアンケートが集まり、北京の一般消費者の知財保護に対する意識は高まってきているが、未だに不正商品も購入するという実態を認識することが出来た。

ほんと？ホント！フェア

主　催：工業・情報化部電子知識産権センター（セミナー共催）
北京国際版権交易中心（啓発イベント共催）
一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）

協　力：経済産業省

後　援：日本国駐中華人民共和国大使館
国際交流基金北京日本文化センター
中国音像協会
国際レコード産業連盟北京代表処（IFPI）
アメリカ映画協会北京代表処（MPA）

特 報 Special Report

# 第 41 回 RIAJ セミナー「新入社員合同研修会・懇親会」開催

４月４日、東京都港区の日本消防会館会議室において、当協会会員社新入社員を対象とする RIAJ セミナーが開催された。44 名の新入社員が出席した第一部の研修会では、当協会広報部宮島課長補佐による「レコード業界について」、法務部楠本副部長による「レコードに関する著作権の基礎知識」をテーマとした講義が行われた。音楽産業の市場規模や著作権、各種使用料の徴収・分配など、当協会の事業紹介を含む密度の濃い講義内容に、質疑応答では予定時間をオーバーして多数の質問が飛び交った。

講義終了後の懇親会では、勢揃いしたフレッシュな新人達を前に、当協会北川会長より歓迎と期待を込めた乾杯の挨拶がなされた。その後、歓談の合間には、各社ごとの自己紹介が行われ、個性溢れるスピーチやパフォーマンスなど、笑顔と活気が溢れる場となった。最後に日本コロムビア（株）奥野恒人 人事部部長が挨拶の大切さを伝えると共に、全員で挨拶６箇条を唱和し、閉会となった。

日本コロムビア株式会社

キングレコード株式会社

株式会社テイチクエンタテインメント

ユニバーサル ミュージック合同会社

株式会社 EMI ミュージック・ジャパン

日本クラウン株式会社

株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ

株式会社ポニーキャニオン

株式会社バップ

エイベックス･グループ･ホールディングス株式会社

一般社団法人日本レコード協会

RIAJセミナー「新入社員研修」を終えた新入社員に対しアンケートを行った。回答の一部を紹介する。

## レコード業界（会社）への志望動機

- 「音楽が好きだったから」と言ったらそれまでのような気がしますが、「音楽を支えたかったから」という思いが強いです。そしてこの仕事が僕が最も社会に貢献できると考えていたからです。
- 日本の文化を海外に広めていきたいと思っているから。その中で音楽が身近だったから。
- 自分が 22 年の人生を送る中で多くの作品に感銘をうけ、影響をうけてきた。そういった人の人生に影響を与えられる力の大きなものを自身の手でつくり上げたいと考えたため。
- 新しい、音楽の楽しみ方を提案したいと思ったからです。CD が売れないなどネガティブなニュースが多い音楽業界ですが、音楽はなくならないですし、何か大きな出来事があった時必ず人は音楽に向き合うと思います。その中で、CD や配信以外でも新しい音楽との出会いを作っていきたいと思っています。
- アーティストを支える立場になりたいと思ったから。音楽の楽しみ方や知り方が多様化してレコード会社の存在意義がうすれる可能性もあるなか新たな音楽の届け方を模索して、音楽を社会に提供したいと思い志望しました。
- 業界と考えは異なるが、私個人の音楽ビジネスへの価値観を商品として形にしたいから。また、その為に不足している知識と経験を積むため。
- 日本一のアーティストを育てたいと感じた為。音楽で世界を変えたいと思った為。
- 音楽が好きで、そこからエンターテインメントを通して世の中に笑顔や感動を与えたかった。
- これまでの人生ほぼ全てを音楽に捧げてきて、これから先もどうにか音楽に携わっていたいと考えていました。残念ながら、自分は演奏者として音楽で人の心を動かすほどの技量は持ち合わせていなかったので才能あるアーティストと共に「音楽の素晴らしさやその時間をより多くの人に伝えたい」「人々の思い出や記憶に残る音楽を作りたい」という夢を実現していきたいと思い、この業界を志しました。
- 想いの宿る音楽を、つくり、伝え、根付かせたいと考えたため。
- ただただ人を感動させたいという単純な気持ちです。
- 音楽は笑いや美しさ、時代を象徴するなど様々な要素があり、それらを発信することに憧れていた。また音楽と消費者を更に近づけたく、入社を志望しました。

## 研修会感想

### 1. レコード業界について

- パッケージの売り上げは確かに右肩下がり、好調ではないですが配信もまだこれからぐんぐん伸ばせるところ。形態はさまざまに変われど、音楽を伝えてゆく手段は限りあるものではないと考えています。伸び悩みの今こそ、変化を遂げられる良いチャンスなのでは、と思うので働きながら、悲観的にならず、変化に対応していきたいです。
- 斜陽産業である事は分かっていたがデータで見ると更にショックを受けた。だが音楽自体の需要は減っていないと思うので前向きに考えている。
- 年々パッケージ市場が縮小している現状や最近の音楽シーンの傾向だけではなく、世界における日本のレコード産業など今まで知らなかったことを多くお話しいただき大変勉強になりました。協会とレコード会社各社が協力して取り組んでいる啓発活動やキャンペーンがより一般の方々に浸透していけたらいいなとも思いました。
- 2011 年の音楽ソフト市場規模が、沖縄県観光売上とほぼ同じということに大変驚きました。私は音楽が趣味なため、アルバイト代も CD 代となっていたので、エステなどとほぼ変わらないというのが少しショックでもありました。音楽の需要拡大が様々なことをされていて、大変興味深かったです。
- パッケージセールスの低迷について、新しく何か代わるものが生み出されなくてはならないと感じました。
- まさに変革の時にいるのだと感じた。
- 音楽バブルと言われていた 1980 ～ 90 年代に比べれば、厳しい立場に立たされている事を理解し、投資をおさえ、有効的なプロモーションをしていく必要があると思った。
- やはり、非常に厳しい状況にあるからこそ、自分達の世代が変えていかなければいけないと思いました。また、ネットを中心とする新しいツールにもしっかりと目を向けて勉強していきたいと思いました。

### 2. レコードに関する著作権の基礎知識

- 権利について熟知できた。音楽＝エンタテイメントとして、楽しいことばかりを考えていたが、金の流れ、著作権の管理など、シビアな部分にも目を向けてこそがレコード会社で働く者の在るべき姿だと感じた。
- レンタルに関する一定のロイヤリティの支払いなど興味深かった。
- やはり違法ダウンロードに関しての問題は山積みだと思います。今定められている法律もしっかり理解しなければならないと思いますが、新しい規則がこれからできていくことを願いたいです。
- 著作者の権利については、多少の知識はもっていたが、レコード会社における許諾権、報酬請求権等の権利については、全く無知であったため勉強になった。また、著作物の使用に関しての利益の分配法、権利の管理法など、多少なりとも理解できたのは良かった。違法ダウンロードの取り締まりとして、動画サイトの削減依頼は分かったが、P2P の取り締まり方法が気になった。
- 著作権について詳しい知識を持っていなかったため、とても勉強になりました。放送二次使用料が電子化されて計りやすくなったことは、大変有難いことだと思いました。違法ダウンロードなどまだまだ対策を講じるべき問題がありますので、私ももっと勉強していきたいと思います。
- 最後に質問させて頂いた「徹底的に違法 DL を取り締まるべき」ということに関して、罰が決まれば、どんどん個人でも取り締まり、捕まえて、それを報道することにより「違法 DL したら、我が身があぶない！やめよう！」という世の中の空気を作り出すべきだと思いました。１人１人捕まえなくても、報道すれば、世の中は変わると思います。

## その他

- レコード業界で働く以上、こうした知識は間違いなく必要になるので、このような機会に学ぶことができて良かったです。
- 話をお聞きすればする程、小売・流通・メーカーそれぞれがバラバラに動いてしまうと、様々な課題を解決するのは難しいと感じました。業界全体で一つになる為にも、RIAJ のような立場の組織のご活躍を切に願います。
- 海外展開のお話がありましたが、Cool Japan と注目を浴び始めてから、かなり時が経ってきていると記憶しています。依然、日本の文化に対して、海外からの注目度は高いままですが、音楽を海外展開していく傾向があるとするならば、海外の熱が冷めない内に、今すぐからでも取り組み始めなければならないように感じました。ぐずぐずしていると、それこそ K-POP 等他国に持っていかれてしまうような気がするので。

# 2012年3月度レコード生産実績

３月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 121% の 2,197 万枚・巻、金額で同 117% の 260 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 112% の 1,532 万枚・巻、金額で同 112% の 178 億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比 148% の 665 万枚・巻、金額で同 128% の 82 億円となっている。

## ● オーディオレコード

（数量:千枚・巻/金額:百万円）

| | | | ３月実績 | | | | | | 2012 年 1 月～ 2012 年 3 月累計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 数　量 | 構成比 | 前年同月比 | 金　額 | 構成比 | 前年同月比 | 数　量 | 構成比 | 前年同期比 | 金　額 | 構成比 | 前年同期比 |
| シングル | 8cmCD | 邦 | 18 | 0 | 877% | 17 | 0 | 1259% | 24 | 0 | 262% | 21 | 0 | 348% |
| | | 洋 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 0 | 0 | 2% | 0 | 0 | 12% |
| | | 計 | 18 | 0 | 882% | 17 | 0 | 1264% | 24 | 0 | 170% | 21 | 0 | 320% |
| | 12cmCD | 邦 | 3,628 | 24 | 130% | 3,012 | 17 | 153% | 12,201 | 26 | 100% | 8,917 | 18 | 108% |
| | | 洋 | 390 | 3 | 127% | 205 | 1 | 92% | 549 | 1 | 139% | 345 | 1 | 120% |
| | | 計 | 4,018 | 26 | 130% | 3,216 | 18 | 147% | 12,750 | 28 | 101% | 9,262 | 19 | 109% |
| | 小計 | 邦 | 3,646 | 24 | 131% | 3,029 | 17 | 154% | 12,225 | 26 | 100% | 8,937 | 18 | 109% |
| | | 洋 | 390 | 3 | 127% | 205 | 1 | 92% | 549 | 1 | 137% | 345 | 1 | 120% |
| | | 計 | 4,036 | 26 | 130% | 3,234 | 18 | 148% | 12,774 | 28 | 101% | 9,283 | 19 | 109% |
| 12cmCD アルバム | | 邦 | 7,918 | 52 | 106% | 11,372 | 64 | 108% | 24,210 | 52 | 100% | 30,996 | 63 | 95% |
| | | 洋 | 3,072 | 20 | 109% | 2,906 | 16 | 99% | 8,368 | 18 | 100% | 7,789 | 16 | 95% |
| | | 計 | 10,990 | 72 | 107% | 14,278 | 80 | 106% | 32,578 | 71 | 100% | 38,784 | 79 | 95% |
| CD 合計 | | 邦 | 11,564 | 75 | 113% | 14,401 | 81 | 115% | 36,435 | 79 | 100% | 39,933 | 82 | 98% |
| | | 洋 | 3,463 | 23 | 111% | 3,111 | 17 | 99% | 8,917 | 19 | 102% | 8,134 | 17 | 96% |
| | | 計 | 15,026 | 98 | 112% | 17,512 | 98 | 112% | 45,351 | 98 | 100% | 48,067 | 98 | 98% |
| アナログディスク | | 邦 | 1 | 0 | 12% | 3 | 0 | 25% | 54 | 0 | 167% | 13 | 0 | 28% |
| | | 洋 | 3 | 0 | 500% | 4 | 0 | 327% | 17 | 0 | 280% | 19 | 0 | 254% |
| | | 計 | 4 | 0 | 55% | 6 | 0 | 57% | 71 | 0 | 185% | 32 | 0 | 60% |
| カセットテープ | | 邦 | 211 | 1 | 101% | 161 | 1 | 116% | 533 | 1 | 83% | 423 | 1 | 87% |
| | | 洋 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | 1 | 0 | - | 1 | 0 | - |
| | | 計 | 211 | 1 | 101% | 161 | 1 | 116% | 534 | 1 | 83% | 424 | 1 | 87% |
| その他 | | 邦 | 13 | 0 | 168% | 14 | 0 | 130% | 45 | 0 | 174% | 46 | 0 | 179% |
| | | 洋 | 69 | 0 | 282% | 101 | 1 | 199% | 160 | 0 | 186% | 282 | 1 | 151% |
| | | 計 | 82 | 1 | 254% | 115 | 1 | 188% | 205 | 0 | 183% | 328 | 1 | 154% |
| 合　計 | | 邦 | 11,789 | 77 | 112% | 14,578 | 82 | 115% | 37,066 | 80 | 100% | 40,415 | 83 | 98% |
| | | 洋 | 3,535 | 23 | 113% | 3,216 | 18 | 101% | 9,096 | 20 | 103% | 8,436 | 17 | 97% |
| | | 計 | 15,324 | 100 | 112% | 17,794 | 100 | 112% | 46,162 | 100 | 100% | 48,851 | 100 | 98% |

## ● 音楽ビデオ

| | | ３月実績 | | | | | | 2012 年 1 月～ 2012 年 3 月累計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 数　量 | 構成比 | 前年同月比 | 金　額 | 構成比 | 前年同月比 | 数　量 | 構成比 | 前年同期比 | 金　額 | 構成比 | 前年同期比 |
| DVD | 邦 | 5,942 | 89 | 152% | 6,843 | 84 | 120% | 14,095 | 86 | 118% | 14,310 | 79 | 92% |
| | 洋 | 453 | 7 | 90% | 367 | 4 | 86% | 1,620 | 10 | 106% | 1,674 | 9 | 90% |
| | 計 | 6,395 | 96 | 145% | 7,210 | 88 | 117% | 15,715 | 96 | 116% | 15,984 | 88 | 92% |
| テープ・その他 | | 255 | 4 | 388% | 964 | 12 | 430% | 646 | 4 | 414% | 2,083 | 12 | 348% |
| 合　計 | 邦 | 6,190 | 93 | 156% | 7,783 | 95 | 132% | 14,620 | 89 | 121% | 16,073 | 89 | 100% |
| | 洋 | 460 | 7 | 90% | 391 | 5 | 86% | 1,741 | 11 | 112% | 1,994 | 11 | 103% |
| | 計 | 6,650 | 100 | 148% | 8,174 | 100 | 128% | 16,361 | 100 | 120% | 18,067 | 100 | 101% |

## ● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

| | ３月実績 | | | | | | 2012 年 1 月～ 2012 年 3 月累計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 数　量 | 構成比 | 前年同月比 | 金　額 | 構成比 | 前年同月比 | 数　量 | 構成比 | 前年同期比 | 金　額 | 構成比 | 前年同期比 |
| オーディオ | 15,324 | 70 | 112% | 17,794 | 69 | 112% | 46,162 | 74 | 100% | 48,851 | 73 | 98% |
| 音楽ビデオ | 6,650 | 30 | 148% | 8,174 | 31 | 128% | 16,361 | 26 | 120% | 18,067 | 27 | 101% |
| 合　　計 | 21,974 | 100 | 121% | 25,967 | 100 | 117% | 62,523 | 100 | 105% | 66,918 | 100 | 99% |

## ● ビデオ（含音楽ビデオ）

| | ３月実績 | | | | | | 2012 年 1 月～ 2012 年 3 月累計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 数　量 | 構成比 | 前年同月比 | 金　額 | 構成比 | 前年同月比 | 数　量 | 構成比 | 前年同期比 | 金　額 | 構成比 | 前年同期比 |
| DVD | 10,309 | 92 | 122% | 16,156 | 84 | 334% | 25,940 | 88 | 95% | 38,613 | 79 | 93% |
| テープ・その他 | 911 | 8 | 139% | 3,019 | 16 | 144% | 3,659 | 12 | 161% | 10,280 | 21 | 139% |
| 合　　計 | 11,220 | 100 | 123% | 19,175 | 100 | 276% | 29,600 | 100 | 100% | 48,893 | 100 | 100% |

## ● オーディオ/ビデオ合計

| | ３月実績 | | | | | | 2012 年 1 月～ 2012 年 3 月累計 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 数　量 | 構成比 | 前年同月比 | 金　額 | 構成比 | 前年同月比 | 数　量 | 構成比 | 前年同期比 | 金　額 | 構成比 | 前年同期比 |
| オーディオ | 15,324 | 58 | 112% | 17,794 | 48 | 112% | 46,162 | 61 | 100% | 48,851 | 50 | 98% |
| ビ　デ　オ | 11,220 | 42 | 123% | 19,175 | 52 | 276% | 29,600 | 39 | 100% | 48,893 | 50 | 100% |
| 合　　計 | 26,544 | 100 | 117% | 36,969 | 100 | 162% | 75,762 | 100 | 100% | 97,744 | 100 | 99% |

備考　1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
　　2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
　　※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

# GOLD DISC

2012年3月度

## 音楽ソフト

### 邦 楽

#### アルバム

● プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| Kis-My-1st | Kis-My-Ft2 | 2012.03.28 | AMI |

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| 『2012』 | Acid Black Cherry | 2012.03.21 | AMI |
| JAPONICANA | JIN AKANISHI | 2012.03.07 | WJ |
| Party Queen | 浜崎 あゆみ | 2012.03.21 | AMI |
| EXIT TUNES PRESENTS Vocaloanthems feat. 初音ミク | 初音 ミク | 2010.09.15 | EXT |
| EXIT TUNES PRESENTS Vocalogenesis feat. 初音ミク | 初音 ミク | 2010.05.19 | EXT |
| EXIT TUNES PRESENTS Vocalonexus feat. 初音ミク | 初音 ミク | 2011.01.19 | EXT |

#### シングル

● ダブル・プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| ワイルド アット ハート | 嵐 | 2012.03.07 | JA |

● プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| SHE! HER! HER! | Kis-My-Ft2 | 2012.03.21 | AMI |

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| 負け惜しみコングラチュレーション | SDN48 | 2012.03.07 | UM |
| Go my way | 三代目 J Soul Brothers | 2012.03.07 | AMI |
| STILL | 東方神起 | 2012.03.14 | AMI |
| たとえ どんなに… | 西野 カナ | 2011.11.09 | SE |
| 生きてる生きてく | 福山 雅治 | 2012.03.28 | UM |
| 愛、テキサス | 山下 智久 | 2012.02.29 | WJ |

#### ビデオ

● プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 綾小路きみまろ 爆笑！エキサイトライブビデオ第3集 | 綾小路 きみまろ | 2008.10.18 | TE |
| EXILE LIVE TOUR 2011 TOWER OF WISH ～願いの塔～ | EXILE | 2012.03.14 | AMI |

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| KANJANI∞ 五大ドームTOUR EIGHT×EIGHTER おもんなかったらドームすいません | 関ジャニ∞ | 2012.03.21 | TE |
| Live at AIR JAM 2011 | Hi-STANDARD | 2012.02.22 | PZ |
| Mr.Children TOUR 2011 "SENSE" | Mr.Children | 2011.11.23 | TF |

### 洋 楽

#### アルバム

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| ソーリー・フォー・パーティー・ロッキング | LMFAO | 2011.07.13 | UM |
| MDNA | マドンナ | 2012.03.26 | UM |

#### シングル

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| スピード アップ / ガールズパワー | KARA | 2012.03.21 | UM |

※日付は発売日

### 認定基準一覧

音楽ソフト（邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ）、音楽配信（着うた®、着うたフル®、パソコンダウンロードシングル・アルバム）共通

| 名称 | 略号 | 基準 |
|---|---|---|
| ゴールド | G | 10万以上 |
| プラチナ | P | 25万以上 |
| ダブル・プラチナ | PP | 50万以上 |
| トリプル・プラチナ | PPP | 75万以上 |
| ミリオン | M | 100万以上 |
| 2ミリオン | 2M | 200万以上 |
| 3ミリオン | 3M | 300万以上 |
| 以降、100万毎に賞を設定 | | |

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL（ダウンロード）
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / BM: バーミリオンレコード / EMI: EMI ミュージック・ジャパン / ES: EPIC レコードジャパン / EXT: エグジットチューンズ / JA: ジェイ・ストーム / K: キングレコード / PC: ポニーキャニオン / PZ: ピザ・オブ・デス・レコーズ / SE: エスエムイーレコーズ / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズファクトリー / UM: ユニバーサルミュージック / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン

## 有料音楽配信（「着うた®」他）

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

### 「着うた®」

#### 邦 楽

● トリプル・プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| ニホンノミカタ ―ネバダカラキマシタ― | 矢島美容室 | 2008.09.25 | AMI |

● ダブル・プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| Everyday、カチューシャ | AKB48 | 2011.05.04 | K |

### 「着うたフル®」

#### 邦 楽

● プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| ハピネス | AI | 2011.11.18 | EMI |
| ふたり | いきものがかり | 2009.05.20 | ES |
| GO! GO! MANIAC | 放課後ティータイム | 2010.04.28 | PC |

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| ふいに | 板野 友美 | 2011.07.06 | K |
| OH MY LITTLE GIRL | 尾崎 豊 | 2009.05.08 | SR |
| コネクト | ClariS | 2011.01.26 | SE |
| ミセナイナミダハ、きっといつか | GReeeeN | 2012.02.15 | UM |
| ルーキーズ | GReeeeN | 2008.12.25 | UM |
| 君に逢いたかった | ナオト・インティライミ | 2012.02.01 | UM |
| SAKURA, I love you ? | 西野 カナ | 2012.02.29 | SE |
| Be... | Ms.OOJA | 2012.02.15 | UM |

#### 洋 楽

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| オン・ザ・フロア feat. ピットブル | ジェニファー・ロペス | 2011.03.30 | UM |

### 「PC 配信（シングル）」

#### 邦 楽

● プラチナ

| | | | |
|---|---|---|---|
| また君に恋してる | 坂本 冬美 | 2009.01.07 | EMI |
| GENIE | 少女時代 | 2010.09.08 | UM |
| 残酷な天使のテーゼ | 高橋 洋子 | 2007.07.25 | K |

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| 言い訳 Maybe | AKB48 | 2009.08.26 | K |
| GIVE ME FIVE! | AKB48 | 2012.02.15 | K |
| OCEAN | B'z | 2005.08.17 | BM |

#### 洋 楽

● ゴールド

| | | | |
|---|---|---|---|
| パーティー・ロック・アンセム | LMFAO | 2011.07.13 | UM |

※日付は配信開始日

## 協会からのお知らせ

東京FMをはじめとするJFN系列全国36局ネットで放送されている「BIG SPECIAL」(月～木 25:00 ～ 28:00)では、この春より毎週火曜日に"Age Free Music"を紹介する番組『BIG TUESDAY』をスタートしました。

BIG SPECIAL『BIG TUESDAY』
(東京FMをはじめとするJFN系列全国36局ネットにて放送)
放　送　日　時：毎週火曜日　25：00 ～ 28：00
ナビゲーター：ルーシー・ケント
コメンテーター：富澤一誠

エイジフリー・アーティストがゲスト登場する「トーク&ライブ」、富澤一誠氏の名曲ストーリー紹介と共に楽曲をオンエアする「名曲ライブラリー」、全国のレコードショップ担当者が旬のCDを紹介する「ミュージック・レーダー」など、盛り沢山の内容の3時間番組です。

**THE RECORD No.630　2012年5月号**
**一般社団法人 日本レコード協会　機関誌**

発行人　北川 直樹
編集人　田口 幸太郎
発行日　2012年5月10日
発　行　一般社団法人　日本レコード協会
〒105-0001　東京都港区虎ノ門2-2-5　共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301（代）FAX. 03-5575-1313
URL: http://www.riaj.or.jp/

制作協力　株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

### 編集後記

1942年、当協会設立時の課題が戦時下の「レコード資材の調達」であった事は本号で述べましたが、深刻な資材不足のため「ボール紙を芯に、その両面だけを薄く在来素材（シェラック）で覆う」という方法でSP盤が作られていたそうです。貴重なレコード素材「シェラック」節約の為考案されたのでしょうが、当時はあらゆる物が「代用品」で作られていた様です。1942年に輸入が完全に途絶えたコーヒーは「大豆や麦、オクラ、どんぐりの実」などを炒った「代用コーヒー」なるものが浸透していたとの事。コーヒー独特の香りや風味とは程遠いものだったのではと想像されます。（T）

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（URL: http://www.riaj.or.jp）のお問い合せページよりお寄せ下さい。